

平成 26 年度 新学術領域研究（研究領域提案型）審査結果の所見

研究領域名	冥王代生命学の創成
領域代表者	黒川 顕（東京工業大学・地球生命研究所・教授）
研究期間	平成 26 年度～平成 30 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、初期地球表層における物質循環ならびに生命の出現に至る物質進化について、生命科学と地球科学の融合により解明することを目的とする。高い実績を有する冥王代の地質・岩石・鉱物の解析に立脚した太古の地球環境の不均質性の推定と、異なる環境で合成された物質の合流の可能性に着目した化学進化実験やゲノム機能解析等による原初生命体の推定を結びつけることを中核に据えた計画は、その具体性が高く評価できる。生命の起源の解明は、多くの人々の関心を惹く魅力ある学際的テーマであり難問でもある。しかしながら、独自の観点に立脚し本格的な学際融合を目指す本研究領域からは、有益な知見が多く得られるものと期待できる。</p> <p>領域代表者は、生命科学分野の大型プロジェクトを牽引した実績を持ち、新設の地球生命研究所において地球惑星科学者と常時的な対話を行う環境が整っていることから、良好なマネジメントが期待できる。広範な研究対象を持つ計画研究間の有機的なつながりを得られるべく領域の運営に期待したい。他方、領域全体の研究者構成は、同研究所とその周辺に集中している傾向がある。研究所設立の趣旨である学際研究の展開を本格化するものとして評価できるが、研究者構成に広がりを持たせることもまた考慮すべきであろう。特に、地球初期の表層環境の推定にあたり、大気科学に精通する研究者が手薄であり強化が望まれる。また、一部の計画研究については、本研究領域内での位置づけがやや曖昧であり、改善が必要と思われる。</p>